

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



▲函館山ロープウェイ

No. 156 函館商工会議所報  
1994 — 9月号

# のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



## 函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 - 1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 - 3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 - 6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 - 1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 - 6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 - 2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 - 0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 - 2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 - 3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 - 2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 - 5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 - 3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 - 1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 - 5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 - 5521(代)			

# Lhくみのローン

手続カンタン  
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート  
ローン

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

## 函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ9月号 (通巻156号)

今月の表紙／視点…………… 2～5  
 会議所の動き…………… 1

- ・ 一号議員50人決まる
- ・ 合同部会幹事会開催

・ 国立函館大学誘致促進進期成会理事会開催

・ 第一回函館経済団体協議会開催

・ 交流事業に函館イカ踊りが参加

・ 第二回ポートセールス等を実施

データをチェック…………… 6  
 調査レポート…………… 6

地域の景気 金融経済概況 七月

・ 市内第一種大規模小売店舗売上高 七月

・ 函地地域における景気動向 平成六年年度 第一四半期

誌 上 講 演…………… 12～13

- ・ 若さの秘密わたしの場合(下)
- ・ 人を活かす

共済推進コーナー…………… 15 14

ティータイム…………… 15 14

暮らしのワンポイント

- ・ アイ・ラブゆうちゃん
- ・ 有段を口指して 詰碁・詰将棋

アドバイスコナー…………… 16～17

・ 上杉鷹山に学ぶ経営戦略(最終回)

Q & A…………… 18～19

- ・ みんなの相談室 労務相談

ご 案 内…………… 20～22

・ 複式簿記実務講座のご案内

・ 刊行物のご案内

・ マルケイ融資制度のご案内

・ ジェット口輸入情報利用のお知らせ

◇今月の表紙

函館山ロープウェイ

函館山の山麓と山頂を結ぶ函館山ロープウェイは、昭和三十三年十一月、登別、札幌(藻岩山)に次ぐ道内三番目のロープウェイとして誕生した。

その後、昭和六十三年四月、第三セクターとして生まれ変わり、収容人員百二十五人で日本一の新型ロープウェイを導入し、秒速七メートル、山頂迄約三分という高速運行ができるようになり、夏季の観光客の待時間も大幅に改善され、喜ばれている。昭和六十三年の年間利用客数は、百万人の大台を突破し、平成五年度においては、百六十二万人の乗客を数えるなど順調に推移し、当市における主要観光施設として今後も大きく期待されている。

視 点

まだ残暑厳しい中ですが、朝夕には一段と涼しさを感じる季節となりました。

気象庁が先月発表した今夏の記録は、一言でいえば戦後最も暑かった夏とのことで、例えば三十九度以上の気温は、戦前からの観測史上でも延十四回しかないのに、八月十八日現在で既に三十回を記録し、平均気温も二度内至三度位、平年より高くなっているとのこと。また最高気温も、観測地点百五十一か所の内、四十%の六十一か所で更新しており、四十度を越えた地点も三か所あるなど、正に異常気象の暑い夏でした。この影響を受けて、東北部から九州にかけては、降水量が極端に少ない地域が各地に生じ、厳しい給水制限がな行われています。

暑い夏日というのに、水も自由に使えなかった地域もあった訳ですが、農業ではこの暑さのお陰で、昨年の凶作とは打って違って一部を除き豊作が予想されています。また商品販売の面でも、クーラー等の在庫がなくなり、ビールも需要に生産が追われ、夏物衣料も好調だったようです。

函館でも三十度前後の日が十日近くもあり、雨もなんとか適時に降ったことで、米作については豊作が伝えられており、昨年の略全減という状況とは大きく変わっています。

どうもお天気は気まぐれで、一次産業ばかりでなく三次産業にも影響を与えるため、その予防策をたてる場合は、その気まぐれ周期以上の期間で考える必要があるなど、経済動向の推計にも、お天気は重要な要素となっています。



# 会 議 所 の 動 き

**本所二号・二号議員につづき  
二号議員50人決まる**  
議員改選

任期満了に伴う本所一号議員の選挙は、議員選挙及び選任規約に基づき、八月十八日選挙告示がな

され、八月二十四日に立候補届出が締切られました。その結果、立候補者は定数を一

人上回る五十一人となりましたが、立候補辞退最終日である八月二十九日までに一人の辞退申し出がありましたので、選挙をすることなく全員の当選が決定しました。一号議員は左表の通りです。

一 号 議 員 (定 数 50 人)

会 社 名	会 社 名	会 社 名
株式会社マルカツ興産 兼八水産株式会社 みかど株式会社函館支店 一位物産株式会社 丸ト豊山食品株式会社 ホンダプリモ函館株式会社 函館米穀株式会社 丸栄堀川紙器株式会社 株式会社菅原組 株式会社湯の川プリンスホテル 函館コンピュータ機器販売株式会社 真鉄工業株式会社 東一函館青果株式会社 株式会社ホテル函館ロイヤル 株式会社斉藤組 株式会社道南食肉センター 株式会社棒上武井漁業	株式会社北洋銀行函館支店 株式会社社長門出版社 株式会社札幌銀行函館支店 小島商事株式会社 白崎タイル工業株式会社 庭本産業株式会社 株式会社五島軒 株式会社丸又和田商店 函館木工品製作販売有限公司 竹林漁業株式会社 函館ポートサービス株式会社 株式会社精養軒 函館旅館組合 キングハイヤー株式会社 函館トヨベツト株式会社 株式会社若松屋衣裳店	株式会社陶陶亭 株式会社ユニクシヨップしま 株式会社弘告社 函館ヤクルト販売株式会社 山本鉄工株式会社 合名会社梅津商店 株式会社博善社 株式会社竹田食品 株式会社函館国際ホテル 佐藤木材工業株式会社 株式会社みちのく銀行函館支店 大明工業株式会社 藤電気工事株式会社 協同組合函館専門店会 兼政藤原水産株式会社 株式会社函館中央自動車学校

(届出順)

## 函館駅周辺の活性化に向け！ 本所合同部会幹事会開催

本所六部会の合同部会幹事会が、去る八月十一日、本所会議室で議員、幹事六十五名が出席し開催されました。

当日は、函館市、日本国有鉄道清算事業団、北海道旅客鉄道㈱の委託事業として、本年三月にまとめられた「函館駅周辺整備計画調査」報告書について、函館市から



▲報告書について説明を行う井上市企画部長

井上企画部長を講師に招き、説明を受けました。

この中で、同部長から、本調査は駅舎改築、駅前広場の整備計画を中心に取りますとされており、新幹線も視野に入れている。また、当事者であるJR北海道及び清算事業団が入って策定したものであることから、実現の可能性が高いと

## 国立函館大学の実現を目指し！ 誘致促進進期成会理事会を開催

国立函館大学誘致促進進期成会理事會（会長木戸浦市長）が、去る八月十八日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催され、本所からは小笠原副会長、池見文教季員長等が出席しました。

会議では、国立函館大学構想調査研究会（山尾座長）が取りまとめた国立函館大学構想案について協議が行われました。この案は、

の認識を持っている。特に、駅舎については、我が国唯一の頭端駅としての特徴をもつことができ、歴史ある函館と適合した建築物として計画されていることもあり、大いに期待して良いのではないかと、の発言がありました。

これを受け、出席者からは、地域活性化を図るためにも、ぜひとも実現してもらいたい旨の強い要望が出されました。

なお、本所としても、本報告書による函館駅周辺整備について、積極的に取組んでいく予定です。

北海道教育大学函館校の大学機能を基盤として、既存の教育学部と新設する国際教養学部を二学部による構成を基本としており、教育学部については、従来の学校種別毎の教員養成課程を廃止して、総合教員課程に一本化し、教師としての共通の力量を形成すること、また、国際教養学部は国際文化、国際社会、国際コミュニケーション

ン、環境科学の四コースで構成し、国内外で活躍しうる人材を育成することとしております。

なお、理事会ではこの構想について、北海道教育大学本部や文部省の理解を求め、国立函館大学の実現を推進していくことを決定しました。

## 第一回 函館経済団体協議会開催

本年度の第一回函館経済団体協議会（本所・亀田・銭亀沢両商会で構成）が、去る八月二十三日、本所において開催されました。

会議では、市企画部石井計画推進室長より、二十一世紀を展望した福祉、教育面を重視する高齢者対策や人づくりなど木戸浦市政三期目の執行方針の七本柱について、説明を受けました。各委員からは、実効ある市政執行に期待するなどの発言、要望が出されました。

なお、当日は事務局より、この度、市が函館新外環状線計画推進研究会を発足させた旨の報告もなされました。

交流事業に函館イカ踊りが参加  
青森ねぶた祭りに花を添える

青函ツインシティ交流事業の一つとして、去る八月七日(日)青森ねぶた祭りの最終日に函館側から「いか踊り」一行二百人が参加しました。

函館と青森市は昭和六十三年の青函トンネルの開業を機にツインシティを盟約し、数多くの交流事



▲出陣式を祝い、鏡割りを行う小笠原副会頭(中)

業を実施しておりますが、その一つとして、両市の夏まつり期間中にねぶた山車、いか踊りを交互に派遣しており、本年は函館いか踊りが青森ねぶた祭りに参加しました。

当日は、安井函館市助役を団長に、本間函館市議会議長や本所小笠原副会頭、沼崎観光協会会長(本所副会頭)などが参加し、出陣

式を行った後、ねぶたパレードの先陣をきって三十六度の猛暑の中、いか踊りが約三キロにわたって繰り広げられ、沿道の観客から盛んに声援を受け、ねぶた祭りに花を添えました。

一方、開港百三十五周年を迎えての函館港まつりは、八月二日の一万人踊りパレード(十字街コーラス)があいにくの雨で順延となりましたが、全国花火大会などその他の行事は天候に恵まれて予定通り行われ、百三十四万人の近年にない人出で賑わいをみせ、七日間の日程に幕を閉じました。

また、函館港利用促進協議会(会長木戸浦函館市長)による平成六年度第二回ポートセールスが、去る八月二十五日、二十六日の両日にわたり、安井函館市助役や本所若林会頭(同会副会長)を始め、関連業界の代表など八名が参加し、極東貿易㈱、三井物産㈱など東京方面の大手企業四社を訪問実施しました。

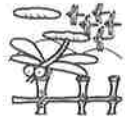
今回は、五月に引続いての訪問となり、サハリンの石油開発計画などに関係する企業が、函館を開発の前進基地として利用することを要請しました。また、函館ユージノ・サハリンスク航空路線及び函館港の利用状況などについても説明しました。

なお、ポートセール終了後、八月二十四日に引続き、井手厚生大臣など厚生省関係窓口に対して、小樽検疫所函館支所内に、食品衛生法に基づく輸入食品の届出窓口を設置することを、強力に陳情しました。

国際都市・函館を目指し！  
第二回ポートセールス等を実施

函館市では、函館空港の国際化に伴う物流の増加、港湾計画の進行による貿易の拡大などが予想される中で、特に輸入食品の取扱いに係わる業務増大が確実となるため、去る八月二十四日、小樽検疫

所に対して、小樽検疫所函館支所内に、「食品衛生法」に基づく輸入食品の届出窓口設置についての陳情を、安井函館市助役、本所小笠原副会頭が参加して実施しました。



# 事務局日誌

## 8月

### ※正副会頭会議

3(水) 第68回正副会頭会議

25(木) 第69回正副会頭会議

### \*部会

11(木) 合同部会幹事会「函館駅周辺整備計画調査」報告書説明会

### \*審査会

8(月) 第5回小企業等経営改善資金審査会

### \*諸会議

1(月) 函館市公文書公開審査会答申  
国立函館大学講想調査研究会

2(火) 指導員研修 (Aコース簿記・税務会計)

5(金) コミュニター航空実験運航及びデモフライトの実施に伴う打合せ

第8回ツールド北海道 函館市実行委員会

9(火) 北海道労働保険事務組合連合会道南地区協議会平成6年度  
通常総会

10(水) 「いかの街はこだて」キャンペーン イカイベント部会

17(水) 函館港・函館空港衛生管理運営協議会 臨時総会  
第18回湯の川温泉街活性化推進懇談会

18(木) 函館生鮮食品小売業活性化指針策定協議会  
平成6年第2回函館市西部地区歴史的町並み資金運営委員会  
国立函館大学誘致促進期成会 理事会

19(金) 所報「ともえ」9月号 No.156 編集会議  
コンベンションビューロー設立検討委員会  
第1回新外環状線計画推進研究会  
函館日英協会 平成6年度理事会・通常総会

22(月) 函館地区電気利用合理化協議会役員候補者懇談会

23(火) 函館経済団体協議会

鉄道貨物協会北海道支部 平成6年度第2回幹事会・講演会  
指導員研修 (Bコース地域近代化の指導法)

24(水) 中小企業相談所移動相談室開設の要望五稜郭商店街振興組合  
鈴木理事長 来所

25(木) 函館地区電気利用合理化協議会定時総会・講演会  
「いかの街はこだて」キャンペーン 幹事会 部会長・副部会長  
合同会議

26(金) 函館シンガポール協会 平成6年度理事会・通常総会  
函館空港「空の日」第8班青空市担当幹事打合せ  
函館日口親善協会理事会

27(土) 七尾商工会議所 視察懇談会

29(月) 平成6年度 自由民主党 渡島(函館市) 管内移動政調会  
「いかの街はこだて」キャンペーン 参加者説明会

30(火) 本所 平成7年度採用試験

31(水) 平成6年度労働時間短縮業種別推進会議  
北東公庫懇談会

### \*講習・催物

1(月) 函館港まつり協賛「第39回道新全国花火大会」

4(木) 函館港まつり協賛「北海道南西沖地震復興1周年チャリティショー」

8(月) 第39回北海道手をつなぐ親の会 全道大会

10(水) 経営相談

18(木) 新潟の物産と観光展 (~8/23)

21(土) はこだて夢会議「函館市民フォーラム」

26(金) 法律相談

### \*刊行物

10(水) 所報「ともえ」8月号 No.155

25(木) 平成5年度 函館地域における経済の動き

### \*相談・診断

金融 73 税務 16 経理 13 経営 65

労働 2 取引 0 その他 4 合計 173

### \*貸室

\*文書受信 195 発信 16

### \*検定・大会

21(日) 平成6年度 第2回 4級ワープロ検定試験

### \*陳情・要望

1(月) 札幌丘珠空港整備促進協議会陳情

4(木) 北海道新幹線建設促進期成会 平成6年度 第2回中央陳情

11(木) 消費税問題に対する要望(地元国会議員)

12(金) 消費税問題に対する要望(地元国会議員)

新幹線青森・函館同時開業促進期成会 要望(市及び市議会)

24(水) 輸入食品届出窓口設置に関する陳情(小樽)

26(金) 函館港利用促進協議会 平成6年度 第2回ポータルセールス  
輸入食品届出窓口設置に関する陳情(東京)

### \*慶弔・その他

1(月) 平成6年函館市功労者表彰式・祝賀会  
函館港まつり開会式

(財)テクノポリス函館技術振興協会 時田局長来所

2(火) 函館港まつり開港5都市ミストの昼食会

N T T函館支店 新谷副支店長就任挨拶

3(水) 函館港まつり一万人踊りパレード、五稜郭コース  
北洋銀行函館支店 滝沢取締役支店長 取締役就任挨拶  
海上自衛隊函館基地隊 古川司令表敬訪問

4(木) 函館港まつり一万人踊りパレード、十字街コース

5(金) 21世紀未来を語る講演会開催実行委員会(石井市議会議員  
中島莊牛氏) 来所

7(日) 青函ツインシティ交流事業「函館イカ踊り」青森ねぶた  
祭り派遣への参加  
函館港まつり閉会式

8(月) 社会保険算定基礎届受付確認

函館観光協会 沼崎会長、高市常務 港まつりお礼 来所

9(火) 札幌銀行 潮川会長、川西頭取 就任懇談会  
三菱商事(株) 発注S、No.755 (26,600MTDW型撒積貨物船) 進水式

10(水) 道立函館高等技術専門学院 橋本庶務課長 来所  
北原普通市議会議員 来所

11(木) 商工中金 函館支店 中林次長 着任挨拶

12(金) 日経BP販売(株) 高橋氏 来所

18(木) 北海道スーパーマーケット ダイエー(株) 経営執行責任者  
太田氏 前専務 潮見氏来所

22(月) 鶴岡商工会議所 上野事務局長、鶴岡市産業部 村田観光  
物産課長 佐藤係長 来所

藤電気工事(株) 佐藤代表取締役 来所

中小企業大学校 芦田旭川校校長 研究課 杉山係長 表敬  
訪問

23(火) 日本航空(株) 函館支店函館営業所 森崎課長 就任挨拶  
函館港まつり一万人踊りパレード運行スタッフ 反省会

24(水) 新都心五稜郭協議会 夏期例会  
ハコダテプロモーションビューロー フォーラム&サマー  
パーティー

30(火) 北海道企画振興部 南原部長 来所

中日本エアラインサービス(株) 早川取締役社長 全日空  
峰 函館支店長 来所

.1%の増加となった。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(7月)は、持家、貸家とも高い伸びを示し、4か月連続して前年を同プラス43.4%と大幅に上回った。こうしたことから、建設業者の繁忙感も持続している。

(5) 農・漁業

農業では、水稻、馬鈴薯等農作物の生育は、一部に干ばつの影響がみられているものの全般的には順調。また、漁業では、近海マイカ漁は好調な水揚げが続いているが、魚価は前年を下回って推移。渡島管内コンブ漁(7月～9月上旬)は、盛漁期を迎えており、前年を若干上回る生産となっている。

(6) 消費関連

7月中の市内大型小売店(10店ベース)の売上高をみると、中元商戦では法人需要の減退から苦戦を強いられたものの、猛暑の影響により夏物衣料が好調な売行きを示したことを主因に、前年比プラス1.0%と23か月振りに前年を上回った。また、耐久消費財では、家電販売は、白物家電が引続き好調であったほか、季節商品である扇風機、エアコンも前年を大幅に上回る売上となった。新車自動車販売をみると、7月の新車登録台数はウェイトの高い大衆車が小幅な落込みに止まったほか、RV車、トラック等の販売が好調であっ

たことから、8か月振りに前年を同プラス1.8%と上回った。この間、観光・レジャー面をみると、道内客の入込みは増加したものの、主力の関東・関西方面からの団体客が減少したため、7月の市内主要ホテルの宿泊客数、観光施設の利用客数とも前年並みに止まった。もともと、8月入り後は本州方面からの入込みが幾分持直している。

3.金融事情(7月中)

実質預金は、公金預金の支払い増加等を背景に、月中154億円増と増加額では前年の同175億円増を下回ったが、残高ベースでは前年比プラス4.8%と比較的堅調に推移している。

一方貸出は、月中162億円増と月中増加額では前年の同116億円増を上回ったもも、企業が抑制的な借入れスタンスを継続していることから、貸出残高は7か月連続して、前年比マイナス0.9%と前年を下回っており、依然弱基調。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中マイナス0.032%と引続き低下した。

銀行券は、月中107億円の還収超と前年の同133億円の還収超を下回った。

財政収支は、源泉所得税の特別減税から租税の受入れが減少したことを主因に、収支戻は月中94億円の受超と前年の同118億円受超を下回った。

データをチェック!

都市への人口移動  
～大都市圏への転入者が減少～

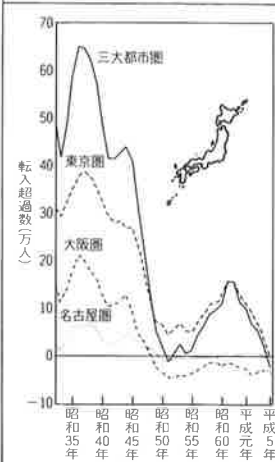
都市に転入出する人口の推移をみると、東京圏では調査を始めた昭和29年から現在まで、転入者(引っ越してくる人)が転出者(引っ越していく人)を大きく上回っています。しかし、転入者は昭和37年の38万8千人をピークに急速に減少し、列島改造ブームが終わる49年には7万人まで減りました。

その後、一時的には増えたものの、平成に入ってから年間2万人ずつ減少し、5年には転入者の上回る数が過去最低にまでなりました。転入者数は違いますが、愛知県や岐阜県を中心とする名古屋圏も同じような傾向にあります(右図)。

一方、現在転出者が増えているのが大阪府や兵庫県の大阪圏です。昭和36年の21万人をピークに転入者は減少をたどり、49年には転出者の方が多い“逆転状態”になっています。

このような都市圏への転入者の減少は、地方の魅力を認識する、U・J・Iターン希望者の増加が背景にあると考えられています。

三大都市圏の転入超過数の推移





地域の景気

# 金融経済 概況 7月

(平成6年8月30日発表)

日本銀行函館支店

## 1. 概況

管内経済をみると、公共投資、住宅投資が引続き好調であるほか、個人消費についても大型小売店売上高、新車登録台数がそれぞれ前年を上回るなど明るさを増しつつあり、景気全体は、回復に向けて緩やかに動いている。

すなわち製造業では、水晶振動子が移動体通信機器の国内外の需要好調を映じて、セメントも官公需や輸出向けから、ともにフル生産体勢を続けている。また、半導体、造船、合板機械もそれぞれ高水準の操業を継続しているほか、漁業機械もますますの操業となっている。一方、水産加工品の売上は、乾燥珍味において夏の行楽需要が盛上がりを欠いたことから前年を下回った。また、製缶機械が減産を余儀なくされているほか、水産加工機械の売上も引続き一進一退の状況にある。

一方、非製造業では、7月の市内大型小売店の売上は、猛暑の影響もあって主力の衣料品が好調な売行きを示したことから、わずかながら23か月振りに前年を上回った。家電販売は白物家電の堅調に加え、扇風機、エアコンも前年を大幅に上回る売上を示した。また、7月の新車登録台数は、RV車やトラック等の販売好調を主因に8か月振りに前年を上回った。この間、市内の観光動向をみると、関東・関西方面からの団体客の入込みが減少したため、宿泊施設、観光施設とも利用客数は前年並みに止まった。

農業をみると、水稻、馬鈴薯等農作物の生産は全般的に順調。漁業では、近海マイカ漁が好調な水揚げを続けているほか、渡島管内コンブ漁も順調な生産となっている。

こうした中、当地中小・零細企業では、昨

年来取組んでいるリストラ等の奏功から、このところ業績の回復を示す先が散見されており、こうした先を中心に管内企業マインドにも回復の傾向がみられている。

7月の金融動向をみると、預金は堅調な推移となっているものの、貸出は企業の抑制的な借入れスタンスを背景に依然低迷している。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は引続き低下した。

## 2. 主要業種別動向

### (1) 機械、電子部品

水晶振動子が、移動体通信機器の国内外の需要好調を映じて、パートを増員するなど増産を図っている。半導体では米国向け4MDRAM、パソコン・家電向けマイコン等の需要好調を主因に、造船は新造船の建造が順調に進捗しているため、また、合板機械も豊富な受注残の消化のため、それぞれ高水準の操業となっている。さらに、漁業機械も、イカ漁の好調を受けて一部漁家の設備需要がみられたことから前年を上回る生産を続けている。

一方、製缶機械は、製缶業者が依然抑制的な設備投資姿勢を崩していないことから減産体勢を余儀なくされているほか、水産加工機械の需要も弱基調にある。

### (2) 食料品

水産加工品の売上は、生鮮珍味は観光客向けの土産品売上増加も加わり順調なものの、乾燥珍味は夏の行楽需要が盛上がりを欠いたため前年を下回った。一方、魚油の売上は食品向けの需要の高まりから引続き堅調に推移している。

### (3) その他製造業

セメントは、官公需や東アジア、中東向け輸出の好調もあってフル生産体勢を継続しているほか、生コンの出荷も、奥尻島を中心とした災害復旧工事の進捗もあって、前年を大幅に上回っている。また、段ボールの生産は青果物向けを中心に順調に推移している。一方合板は、家具向け需要が低迷していることに加えてインドネシア輸入合板は流入増加等を映じて、抑制的な生産を続けている。この間、漁網の生産は、定置網が前年を上回っているものの、全体では低調に推移している。

### (4) 建設関連

7月の管内公共工事請負額は、6年度本予算成立を受け災害復旧工事を中心に官公庁の発注が活発化したことから、前年比プラス43

き減少傾向。いずれの細業種でも「横ばい」を見込む企業が多く、依然停滞色を濃くしている。

【卸売業】

今期比 8.3、前年同期比-6.0となっており、食料品、燃料、機械器具卸売業で増額を見込む企業が目立っている。

【小売業】

今期比-7.1、前年同期比-3.7となったが、スーパー等の各種商品小売業で今期比、前年同期比ともに「減少」と回答した企業がなかったほか、低迷が続く衣料品小売業でも増額を見込む企業が目立っており、次期以降への

期待感が表れている。

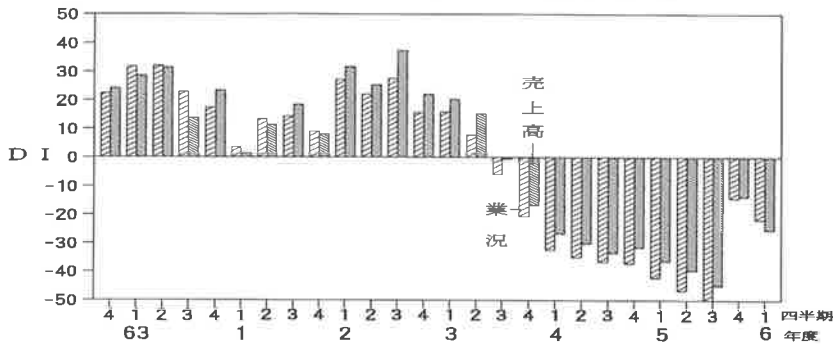
【サービス業】

今期比-3.4、前年同期比 -27.6となり、旅館・ホテル関連で依然停滞色が濃く、総じて厳しい見通しとなっている。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とする企業 2.9%に対し、「変わらない」とする企業が79.5%、「悪化」とする企業17.6%で、DIは -14.7となり、資金繰り状況は今期と同様の見通しとなっている。

図-7 業況・売上額DI推移 (全業種・対前年同期比)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成6年7月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,259,143	100.0	103.3
身の回り品	686,571	100.0	99.0
雑貨	690,218	100.0	95.7
家庭用品	747,284	100.0	105.2
食料品	2,190,527	100.0	98.1
食堂・喫茶	155,737	100.0	98.6
サビ	77,181	100.0	125.4
その他	595,401	100.0	101.7
総計	8,402,062	100.0	101.0

統計資料

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、  
 テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

## 5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、引き続き「売上・受注の不振」をあげる企業が43.6%で最も多く、またいずれの業種でもトップとなっている。

その他の問題点を業種別にみると、

建設業では「工事価格の値下がり」が20.0%、「景気の見通し難」13.3%、「同業者間の競合」が10.0%。

製造業では「人件費等経費の増加」が17.8%、「純利益の減少」、「景気の見通し難」がそれぞれ15.6%。

卸売業では「販売価格の値下がり」26.0%。

小売業では「客足の減少」18.2%、「純利益の減少」12.7%。

サービス業では「客足の減少」が22.2%。

### 来期(7月~9月)の見通し

今 期： 6年4月~6月実績

前年同期： 5年7月~9月実績

### 1. 業況について

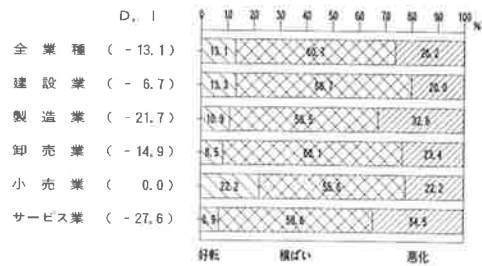
来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業15.3%に対し、「横ばい」とみる企業が61.3%、「悪化」とするとみる企業は23.4%となっており、D Iは-8.1。

前年同期比でみると、「好転」13.1%に対し、「横ばい」60.7%、「悪化」26.2%で、D Iは-13.1となっており、引き続き低調な見通しとなっている。

業種別のD Iでみると、今期比では、建設業が-3.5、製造業-19.5、卸売業-4.1、小売業-5.3、サービス業-6.9。前年同期比のD Iでは、建設業が-6.7、製造業-21.7、卸売業-14.9、小売業0.0、サービス業-27.6と今期比、前年同期比ともにD Iがプラスの業種

はなく、依然慎重な業況見通しとなっている。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)

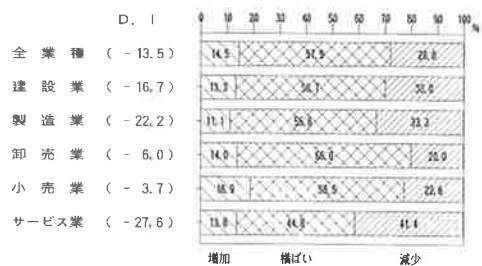


### 2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業19.0%に対し、「横ばい」とみる企業56.1%、「減少」とみる企業24.9%で、D Iは-5.9となっている。

また、前年同期比でみると、全業種では「増加」14.5%に対し、「横ばい」が57.5%、「減少」が28.0%で、D Iは-13.5となり、引き続き減少傾向が見込まれている。

図-6 来期の売上見通し (対前年同期比)



次に来期の売上見通しを業種別のD Iでみると、

#### 【建設業】

今期比-21.5、前年同期比-16.7となっており、職別工事業では今期比、前年同期比ともに「減少」を見込む企業が多く、総じて厳しい見通しとなっている。

#### 【製造業】

今期比-11.4、前年同期比-22.2と引き続

全業種では「増加」17.2%に対し、「横ばい」40.2%、「減少」42.6%で、D Iは -25.4となり、やはり11期連続のマイナス、依然低水準で推移している。(図-7参照)

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

前期(1~3月期)に前期比、前年同期比ともにプラスに転じ、明るい兆しが見えた同業種も、今期の工事完成額についてのD Iは、前期比 -10.7、前年同期比 -10.0と再びマイナスに転じた。特に職別工事業で「減少」と回答した企業が多くなっている。

【製造業】

今期の生産額についてのD Iは、前期比が -8.7、前年同期比 -26.1となっており、製網、印刷関連で「増加」と回答した企業が目立ったが、前期(1~3月期)に前期比、前年同期比ともにD Iがプラスとなった食料品製造業が再びマイナスに転じたのをはじめ、他の業種も依然低水準で推移している。

【卸売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -10.2、前年同期比が -29.1となっており、機械器具卸売業、建築材料卸売業で「増加」と回答した企業が多く見られたが、ほかは、依然厳しい状況となっている。

【小売業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -1.8、前年同期比 -19.1となっており、前期比では衣料品小売業、自動車小売業で、前年同期比では食料品小売業でD Iがプラスとなったが、総じて停滞している。

【サービス業】

今期の売上額についてのD Iは、前期比が -6.9、前年同期比 -46.5となっており、旅館

・ホテル等観光関連業種を中心に引続き低調に推移している。

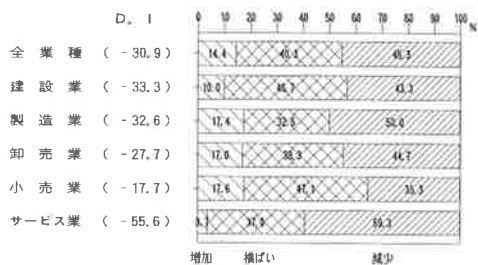
3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業20.8%に対し、「横ばい」が39.1%、「減少」している企業40.1%で、D Iは -19.3となり、マイナス幅は縮小しているものの、引続き減少傾向。

また、今期の純利益を前年同期比でみると、全業種では「増加」14.4%に対し、「横ばい」40.3%、「減少」45.3%で、D Iは -30.9となり、依然減少傾向で推移している。

業種別にみても、すべての業種で前期比、前年同期比ともにD Iがマイナス、採算の悪化傾向が続いている。

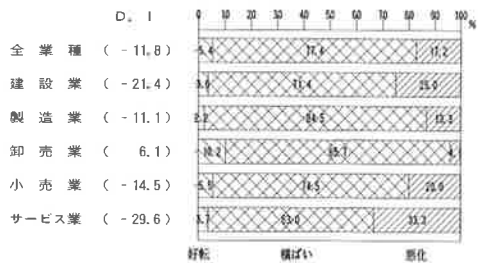
図-3 今期の純利益(対前年同期比)



4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業5.4%に対して、「変わらない」とする企業が77.4%、「悪化」している企業17.2%で、D Iは -11.8となっている。

図-4 今期の資金繰り(対前期比)



# 函館地域における 景気動向

〈平成6年度・第1四半期〉

平成6年度・第1四半期（平成6年4月～6月）の函館地域における景気動向調査（本所調査）結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	320社	211社	65.9%
建設業	40	30	75.0
製造業	80	46	57.5
卸売業	70	50	71.4
小売業	90	56	62.2
サービス業	40	29	72.5

（注）本調査結果の中のD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

## 今期(4月～6月)の実績

前期： 6年1月～3月実績

前年同期： 5年4月～6月実績

### 1. 業況について

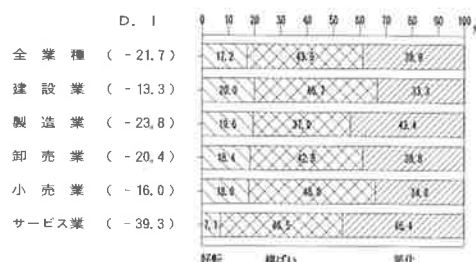
函館地域企業の今期業況を全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業27.3%に対し、「横ばい」が43.5%、「悪化」している企業29.2%で、D Iは-1.9となっており、引続き悪化基調ながらD Iのマイナス幅は大きく縮小している。

業種別のD Iでみると、建設業が0.0、製造業4.4、小売業0.0とそれぞれマイナスを脱し、卸売業-10.3、サービス業-3.4でもマイナス幅が縮小している。

しかし、今期の業況を前年同期比でみると、全業種では、「好転」17.2%に対し、「横ばい」が43.9%、「悪化」が38.9%で、D Iは-21.7となり、平成3年度第3四半期以来、11期連続のマイナスとなった。（図-7参照）

業種別のD Iでみると、前期（1～3月期）にプラスに転じた建設業も再びマイナスとなったのをはじめ、いずれの業種も2ケタのマイナスとなっており、企業の業況感は未だ停滞基調で推移している。

図-1 今期の業況（対前年同期比）

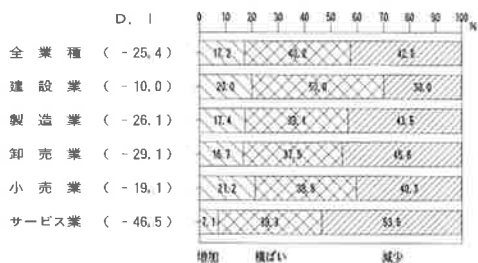


### 2. 売上額について

今期の売上額を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業25.5%に対し、「横ばい」が41.8%、「減少」している企業32.7%で、D Iは-7.2となり、マイナス幅は縮小しているものの、引続き減少傾向を示している。

また、今期の売上額を前年同期比でみると、

図-2 今期の売上額（対前年同期比）



# スポーツを始めるのに 遅すぎるなんてことはない

— 若さの秘密 わたしの場合 — (下)



経営評論家 竹村 健一

50歳でテニスをやり始めたときに、「テニスは激しい運動だから、心臓マヒになるよ」と周囲から言われた。実は40代の終わりごろ、心臓の発作で病院へ2度ほど駆け込んだことがあってね。それからしばらく、ニトログリセリンを胸のポケットに忍ばせるという状態が続いた。

けど、テニスを始めスキーをやるようになって、このごろはニトロなど全然持ち歩かなくてもよくなった。だから、中年から老年の方に言いたいんやが、スポーツを始めるのに遅すぎるなんてことはないということですよ。

## ■ボケ防止に 脳幹を刺激する

散歩とかジョギングとか、皆さんようやられているけど、あれじゃボケの防止にはならへんね。スキーとかスキューバとか、少々スリルを感じるぐらいのことを、年をとってからうまく工夫してやる。これが一番なんです。

そうするとボケどころか、本当に自然と若返る。僕自身も、こういうスポーツをとことん楽しんで帰ってくると、全身に活力がみなぎるね。それから10日ほどは、講演をしても声がすっと出て、自分でも驚くほどなんですよ。

ちょっとむずかしいことを言うけど、人間の脳皮質には新皮質と旧皮質とがあって、文明人は新皮質ばかりを使っている。けど、人間の喜怒哀楽をつかさどっている旧皮質の奥には、もっと大事な脳幹がある。この脳幹を刺激することが、ボケ防止にとっても役立つといわれる。“もしかしたら、死ぬかもしれん”というときに脳幹が刺激されて、ボケが治るというんや。つまり、怖いと感じるスリルが効くんやね。だからボケ防止には、スリルのあるスポーツが一番なんですよ。

## ■環境に応じて 何か運動をしよう

人間は、仕事だけでなく、スポーツやレジャーが必要なんです。それは単に、経済的に余裕ができたからするというのではなく、余裕のあるなしにかかわらず、それぞれの環境に応じて何か運動をしたほうがええ。遊びも仕事と同じで、やってみれば結構楽しいですよ。それに集中してやれば、健康ということに加えて、上達するという、もう一つの喜びがある。年齢が少々高くても、若者に負けないぐらいのレベルに達することができる喜びがあるからね。自分自身の体験から、ぜひこれ

を言いたいね。

仕事をたくさんしている人は、遊ぶ時間もないと思うけど、仕事をテキパキとこなしている人は、よく遊んでいますよ。

流行や他人に左右されず、自分を中心に考えた行き方を加えることが大切だと思うね。よく働きよく遊ぶ-僕もまた新たなスポーツをしたいと、うずうずしているんや。

おわり

## 【竹村健一（たけむら・けんいち）氏の略歴】

昭和5年4月7日、大阪府生まれ。64歳。経営評論家。京都大学英文科卒業後、ソウルボンヌ大学などで学ぶ。「英文毎日新聞」記者、山陽特殊製鋼調査部長、追手門学院大学助教授を経て評論家となる。



ナデシコ